

2012 年 環境報告書

Nasu Material Corporation Environmental Report



那須マテリアル株式会社

NASU-MATERIAL

<http://www.nasu-material.co.jp>

本報告書の作成にあたって

報告書対象期間

2011年 4月 1日 ～ 2012年 3月31日

報告書対象組織

那須マテリアル株式会社

本社工場(栃木県大田原市)

東北事業所(福島県西郷村)

目 次

1. 会社概要(グループ会社履歴・組織体制・グループ会社一覧).....	2
2. 工場施設及び設備の概要.....	3
3. 環境方針.....	4
4. EMSの取り組み-(1).....	5
EMSの取り組み-(2).....	6-7
5. 教育訓練.....	8
6. 産業廃棄物の再資源化取り組み事例.....	9
7. 優良産廃処理業社認定制度の取り組み.....	10
8. 地域社会への取り組み(クリーン活動).....	11
9. その他の環境活動.....	11

1. 会社概要

会社概要

社 名 那須マテリアル株式会社

創設年月日 平成 9年 9月 9日

操業開始日 平成12年 4月 1日

本 社 栃木県大田原市北金丸2122

東北事業所 福島県西白河郡西郷村大字小田倉大平175-5

資 本 金 56,000,000円(平成24年3月現在)

役 員 代表取締役 星 彰 治

取 締 役 星 豪 紀

取 締 役 星 祐 見 子

監 査 役 高 梨 友 子

グループ会社履歴

1997年 9月 那須マテリアル株式会社を設立

2000年 3月 栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を取得

栃木県産業廃棄物処分業許可を取得

2002年11月 福島県産業廃棄物収集運搬業許可を取得

12月 宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を取得

2003年 6月 星 彰治が代表取締役に就任する

2004年 1月 那須マテリアル株式会社本社ISO14001の認証を取得

2005年 3月 栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新

栃木県産業廃棄物処分業許可を更新

2006年 4月 福島県にシリコンの選別・検査・加工の施設として東北事業所を開設する

9月 一般労働者派遣業許可を取得

10月 群馬県産業廃棄物収集運搬業許可を取得
東北事業所を追加登録

2007年 8月 那須マテリアル株式会社本社・東北事業所ISO27001の認証を取得

9月 秋田マテリアル株式会社を設立

10月 ISO14001更新審査合格

11月 福島県産業廃棄物収集運搬業許可を更新

12月 宇都宮市産業廃棄物収集運搬業許可を更新

2008年 1月 エヌズホールディングス株式会社を設立

5月 秋田マテリアル株式会社、秋田県産業廃棄物処分業許可を取得

12月 郡山市産業廃棄物収集運搬業許可を取得

2009年 4月 那須マテリアル株式会社東北事業所増築工事完了

2010年 3月 栃木県産業廃棄物収集運搬業許可を更新

栃木県産業廃棄物処分業許可を更新

7月 ISO27001 更新審査合格

9月 茨城県産業廃棄物収集運搬業許可を取得

11月 ISO14001 更新審査合格

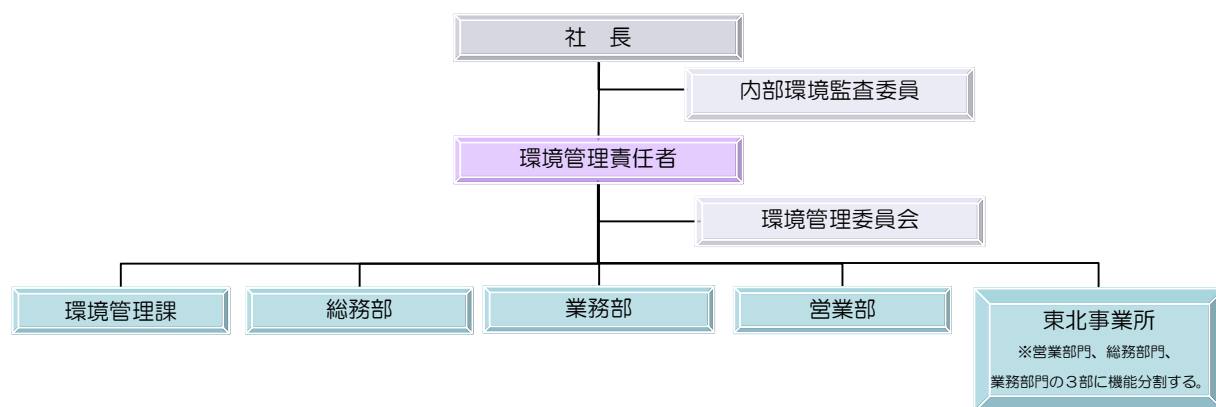
2011年 9月 栃木県において「優良産廃処理業社認定制度」に適合認定
(処分業・収集運搬業)

11月 群馬県産業廃棄物収集運搬業許可を更新。

群馬県において「優良産廃処理業社認定制度」に適合認定

2012年 1月 福島県において「優良産廃処理業社認定制度」に適合認定

組織体制



環境関連グループ会社一覧



エヌズホールディングス株式会社

エヌズホールディングス株式会社

本社／〒961-8061 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平175-5

TEL. 0248-48-0099

大田原支店／〒324-0011 栃木県大田原市北金丸2122

TEL. 0287-20-2660



AKITA MATERIAL

秋田マテリアル株式会社

〒018-0311 秋田県にかほ市金浦字塩焚浜188

TEL. 0184-74-5277

2. 工場施設及び設備の概要

(1) 本社工場

所在地 栃木県大田原市北金丸 2122

敷地面積 33,510 m²

業務内容 ●OA機器・金融機器・家電等の電子機器類等の手解体・選別により、
鉄・非鉄、貴金属・ガラス・プラスチック・紙回収によるリサイクル化
●シリコンスクラップの売買及びソーラーグレードシリコンインゴットの売買
●環境業務全般に係わる派遣事業及びこれらに伴う教育
●建設資機材・環境機器のレンタル事業

保有設備 本社所有



名 称	破砕機	粉碎機	被覆電線 処理装置	発砲スチロール 減容再生機	フォークリフト
数 量	1	1	1	1	2
名 称	ローリフト	トラック スケール	プリンター付 デジタル計量器	2tトラック	4tトラック
数 量	1	1	1	2	1

保有設備 本社レンタル品

名 称	3.8m敷鉄板	三脚付光波 ブリズム	バックホウ 油圧ショベル
数 量	150 枚	3	2

(2) 東北事業所

所在地 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大平 175-5

敷地面積 2,940 m²

業務内容 ●鉄・非鉄、貴金属・プラスチック・紙回収によるリサイクル化
●シリコンスクラップの売買及び検査加工業務、並びにソーラーグレード
シリコンインゴットの売買

保有設備 東北事業所所有



名 称	70t圧縮機	フォークリフト	プリンター付 デジタル計量器	シリコン 自動選別機
数 量	1	2	1	1

3. 環 境 方 針

当社は、廃棄物を国際資源と捉え、手解体、手選別という手法により、再資源化・有効利用していく「循環型社会の構築」という夢に貢献して参ります。

当社は、産業廃棄物処分（素材毎の再生利用）事業・産業廃棄物収集運搬事業・シリコンスクラップの再利用・再生利用事業という環境保全に関わる事業を展開していること、また、再資源化事業者として、2011年3月11日発生の「東日本大震災」の復興に、素材の再資源化事業を通して付与して行く事を踏まえ、以下の方針に基づき環境管理を行います。

1. 当社は、当社の事業活動に伴って発生する環境影響等を認識し、環境負荷の低減に向け、環境マネジメントシステムの継続的改善及び汚染の予防に努めます。
2. 当社は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等、当社の環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他要求事項を遵守することはもちろん、経済面・スタッフ・技術面において可能な限り更なる自主規制を設けます。
3. 当社の立地する大田原市金田地区は、ザゼン草の群生地や白鳥の飛来する羽田沼、また 2006 年 4 月開設した東北事業所の立地する福島県西郷地区は、日光国立公園「さわやか高原公園都市」と紹介され、大河川、「阿武隈川」の源流や、隣の白河市には、日本最古の「南湖公園」が存在するという恵まれた自然環境であることを踏まえ、当社の事業活動における環境負荷抑制のための最重要課題として以下の項目を設定します。
 - (1) 電力及び軽油の消費削減、及び CO2 排出量の削減
 - (2) 収集運搬作業中の破損及び落下等の事故の予防
 - (3) 再生入荷物及びリサイクル品の取扱数量の増加による資源・素材の再利用及び再生利用の促進

※2011 年 8 月 12 日：旧版内の課題（4）自社発生再生原料による製品化を削除
4. これらの環境目的に従事する従業員に周知・認識させ、更に個々の視点からの発想も積極的に取り入れていき、「実行」の仕組みを確立し、「点検」・「見直し」の機会を設けていく。
5. この環境方針は当社で働く又は当社に委託されて働く全ての人に周知するほか、社外の利害関係者に公表致します。

作成：2004 年 6 月 18 日

改定：2011 年 8 月 12 日



那須マテリアル株式会社

代表取締役 星 彰治

4. EMSの取り組み (1)

環境目的・目標一覧(全社分)

区 分	環境目的	著しい環境側面	基準値	運用開始 8 年度目	
				2011 年(H.23) 度目標	目標の使用量、 排出量等
				期間:2011 年 4 月～ 2012 年 3 月	
1.省エネ・ 省資源対策	1.電力使用量の 削減①(100V)	本社の照明・事務機器・業務部門 関連設備、東北事業所関連の照明・ 事務機器・業務部門関連の施設設 備等の稼働に伴う電力の消費	H21 年度想定実績値: 74,170kwh (本社H18 年度実績値+ 東北H21 年度想定値)	■基準値比 5.6%削減	70,023kwh
	2.電力使用量の 削減②(200V)	東北事業所の業務部門関連設備 (プレス機他)稼働に伴う電力の消 費 ※本社は該当しない	H21 年度想定実績値: 6,747kwh	■基準値比 3.0%削減	6,545kwh
	3.軽油使用量の 削減	本社業務部の車輛(トラック)用燃料 の消費、東北事業所業務部門で使 用する車輛(トラック)用燃料の消費	H21.22 年度燃費実績: 平均値:6.14km/L	■基準値比 2.0%増加	6.26km/L
2.廃棄物等 排出対策	1.車輛からの 排気ガスの削減 ①	営業用自家用車使用に伴う排気ガ スの排出	データ無し	■CO2 排出削減目標に置きかえる	
	2.車輛からの 排気ガスの削減 ②	上記 3.に関わる車輛(トラック)使用 に伴う排気ガスの排出	データ無し	■上記軽油使用量目標に置きかえる	
	2.CO2 の排出削減	電力及び軽油の使用に伴う CO2 の排出	H21.22 年度実績値: 56,682kg	■基準値比 1.0%削減	56,121kg
3.施設・設備・ 作業関連の 緊急時対策	1.フォークリフト関連 の予防保全	敷地外への転落事故、建物・人身 等への接触事故、荷積み・荷下ろ し時の荷物の落下事故、積雪時に 横転・接触事故、油圧ホース等から の油の漏洩	H.17～19 年度実績: 左記緊急事態発生 1 件	■事故発生 0 件	
	2.業務用トラック関 連の予防保全	・待機中の騒音 ・油漏れ、騒音、荷物の落下、荷物 の飛散、人身・物損事故	H.17～19 年度実績: 左記緊急事態発生 1 件(荷物の落下)	■事故発生 0 件	
	3.収集運搬作業関 連の予防保全	・解体排出作業中の破損事故 ・トラック捕縛作業中の落下事故 ・トラックの過積載運送、運搬中の 荷物の落下事故	H.17～19 年度実績: 左記緊急事態発生 1 件(荷物の落下)	■事故発生 0 件	
4.その他環境に 有益な項目	1.再生入荷物・リサイクル品の取扱量の増加による 資源・素材の再利用及び再生利用の促進 ※H18 年度実績値:本社再生品の実績値(鉄、アルミ、ステン レス、プラスチック、雑品、シリコンの合計)		H.18 年度実績: 1,113,058Kg	■基準値比 9.0%増加	1,213,234 kg
	2.会社周辺のクリーン活動		H21 年度実績 1 回	■目標実施回数	2 回
	3.社員によるペットボトル・ダンボール類の回収		H22 年度回収実績 PB 73kg 段ボール 214.5kg	■目標:基準値比 5%増加	301.84kg
	4.顧客から発生する廃棄物のリユース(再利用)活動		実績データなし	■目標:回収実績データの採取	

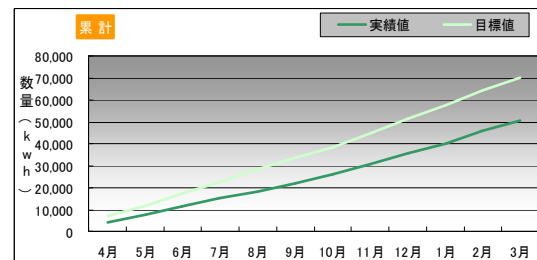
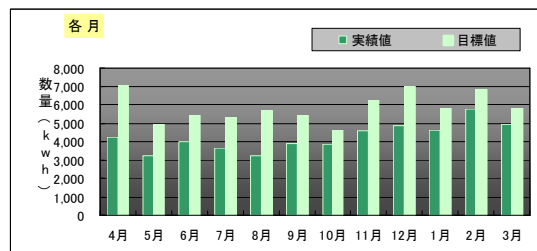
今年度も運用期間において、東日本大震災による影響を受ける取組項目がありましたが、環境管理委員会で進捗を確認しながら、目標値を修正せずに実施することができました。

4. EMSの取り組み- (2)

環境監視実績データ一覧(全社分その1)

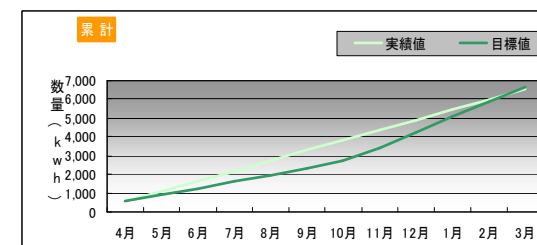
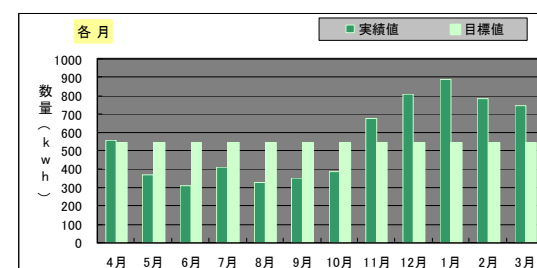
■電力使用量 100V

監視データ1		電力使用量 100V (kwh)				H23年度 目標値	基準値 5.6%削減 目標使用量 : 70,023 kwh			
月	21年度 想定 実績値	各月 目標・実績				累計 目標実績				
		H23年度	H23年度	対目標値	評価	H23年度	H23年度	対目標値	評価	
		各月目標(a)	各月実績(b)	(a/b)		累計目標値(c)	累計実績値(d)	(c/d)		
4月	7,472	7,054	4,260	165.6%	○	7,054	4,260	165.6%	○	
5月	5,207	4,915	3,197	153.7%	○	11,969	7,457	160.5%	○	
6月	5,740	5,419	4,008	135.2%	○	17,388	11,465	151.7%	○	
7月	5,632	5,317	3,666	145.0%	○	22,705	15,131	150.1%	○	
8月	5,989	5,654	3,230	175.0%	○	28,359	18,361	154.5%	○	
9月	5,716	5,396	3,881	139.0%	○	33,755	22,242	151.8%	○	
10月	4,902	4,627	3,872	119.5%	○	38,382	26,114	147.0%	○	
11月	6,592	6,223	4,564	136.3%	○	44,605	30,678	145.4%	○	
12月	7,372	6,959	4,878	142.7%	○	51,564	35,556	145.0%	○	
1月	6,124	5,781	4,611	125.4%	○	57,345	40,167	142.8%	○	
2月	7,256	6,850	5,746	119.2%	○	64,195	45,913	139.8%	○	
3月	6,172	5,826	4,909	118.7%	○	70,021	50,822	137.8%	○	
	74,170	70,023	50,791	137.9%	○					



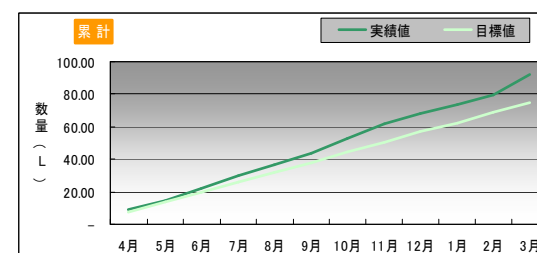
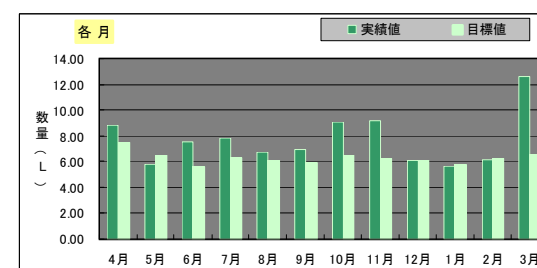
■電力使用量 200V

監視データ2		電力使用量 200V (kwh)				H22年度 目標値	基準値 3%削減 目標使用量 : 6,545 kwh			
月	21年度 想定 実績値	各月 目標・実績				累計 目標実績				
		H23年度	H23年度	対目標値	評価	H23年度	H23年度	対目標値	評価	
		各月目標(a)	各月実績(b)	(a/b)		累計目標値(c)	累計実績値(d)	(c/d)		
4月	562	545	559	97.5%	×	545	559	97.5%	×	
5月	562	545	369	147.7%	○	1,090	928	117.5%	○	
6月	562	545	307	177.5%	○	1,635	1,235	132.4%	○	
7月	562	545	411	132.6%	○	2,180	1,646	132.4%	○	
8月	562	545	330	165.2%	○	2,725	1,976	137.9%	○	
9月	562	545	353	154.4%	○	3,270	2,329	140.4%	○	
10月	562	545	388	140.5%	○	3,815	2,717	140.4%	○	
11月	562	545	675	80.7%	×	4,360	3,392	128.5%	○	
12月	562	545	809	67.4%	×	4,905	4,201	116.8%	○	
1月	562	545	885	61.6%	×	5,450	5,086	107.2%	○	
2月	562	545	784	69.5%	×	5,995	5,870	102.1%	○	
3月	562	545	744	73.3%	×	6,540	6,614	98.9%	×	
	6,744	6,545	6,614	99.0%	×					



■軽油燃費量

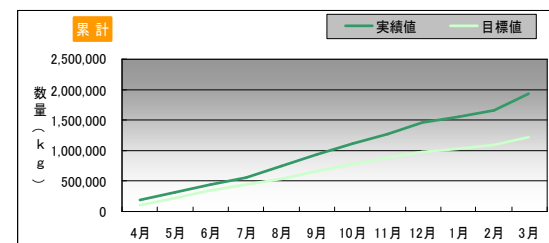
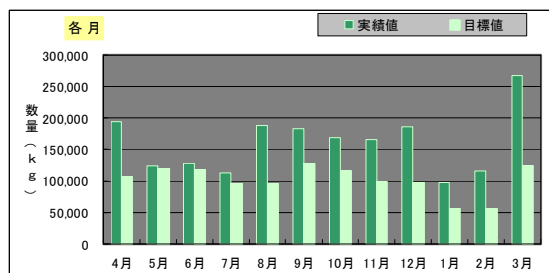
監視データ3		燃費量 (km/L)				H22年度 目標値	基準値 1%増加 目標値 : 6.26 km/L			
月	21年度 想定 実績値	各月 目標・実績				累計 目標実績				
		H23年度	H23年度	対目標値	評価	H23年度	H23年度	対目標値	評価	
		各月目標(a)	各月実績(b)	(a/b)		累計目標値(c)	累計実績値(d)	(c/d)		
4月	7.31	7.46	8.81	118.1%	○	7.46	8.81	118.1%	○	
5月	6.36	6.49	5.78	89.1%	×	13.95	14.59	104.6%	○	
6月	5.50	5.61	7.57	134.9%	○	19.56	22.16	113.3%	○	
7月	6.16	6.28	7.82	124.5%	○	25.84	29.98	116.0%	○	
8月	5.97	6.08	6.70	110.2%	○	31.92	36.68	114.9%	○	
9月	5.74	5.85	6.95	118.8%	○	37.77	43.63	115.5%	○	
10月	6.40	6.53	9.13	139.8%	○	44.30	52.76	119.1%	○	
11月	6.08	6.20	9.14	147.4%	○	50.50	61.90	122.6%	○	
12月	5.98	6.09	6.08	99.8%	×	56.59	67.98	120.1%	○	
1月	5.65	5.76	5.70	99.0%	×	62.35	73.68	118.2%	○	
2月	6.11	6.23	6.13	98.4%	×	68.58	79.81	116.4%	○	
3月	6.43	6.56	12.60	192.1%	○	75.14	92.41	123.0%	○	
	6.14	6.26	7.70	123.0%	○					



環境監視実績データ一覧(表示分その2)

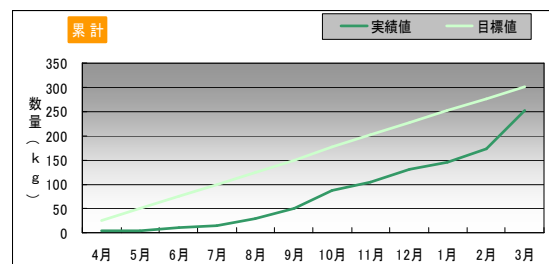
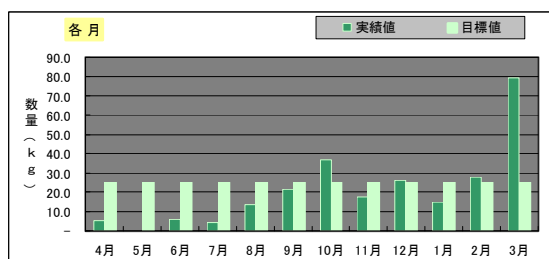
■再生入荷物・リサイクル品の取扱の増加

監視データ4		再生入荷物・リサイクル品の 取扱の増加 (kg)				H22年度 目標値	基準値 8%増加 目標取扱量 : 1,202,103Kg			
月	21年度 想定 実績値	各月 目標・実績				累計 目標実績				
		H23年度	H23年度	対目標値	評価	H23年度	H23年度	対目標値	評価	
		各月目標(a)	各月実績(b)	(a/b)		累計目標値(c)	累計実績値(d)	(c/d)		
4月	98,010	106,831	194,489	182.1%	○	106,831	194,489	182.1%	○	
5月	109,955	119,851	124,061	103.5%	○	226,682	318,550	140.5%	○	
6月	108,531	118,299	128,118	108.3%	○	344,981	446,668	129.5%	○	
7月	87,509	95,385	112,899	118.4%	○	440,366	559,567	127.1%	○	
8月	87,797	95,699	188,421	196.9%	○	536,065	747,988	139.5%	○	
9月	117,449	128,019	183,260	143.2%	○	664,084	931,248	140.2%	○	
10月	106,543	116,132	168,485	145.1%	○	780,216	1,099,733	141.0%	○	
11月	90,485	98,629	165,057	167.4%	○	878,845	1,264,790	143.9%	○	
12月	89,132	97,154	185,375	190.8%	○	975,999	1,450,165	148.6%	○	
1月	52,163	56,858	97,096	170.8%	○	1,032,857	1,547,261	149.8%	○	
2月	51,023	55,615	115,991	208.6%	○	1,088,472	1,663,252	152.8%	○	
3月	114,461	124,762	267,060	214.1%	○	1,213,234	1,930,312	159.1%	○	
	1,113,058	1,213,234	1,930,312	159.1%	○					



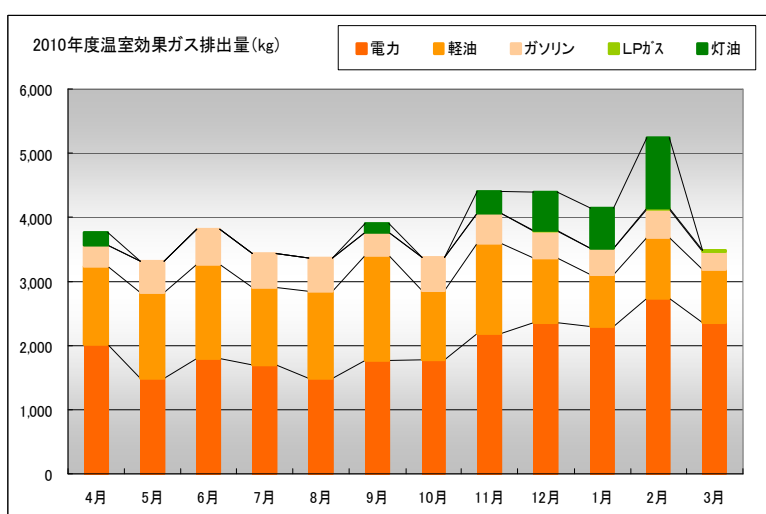
■社員によるPB／ダンボール類の回収

監視データ5		再生製品の販売重量(単位: kg)				H23年度 目標値	基準値比		5%増加		
月	21年度 想定 実績値	各月 目標・実績				累計 目標実績					
		H23年度	H23年度	対目標値	評価	H23年度	H23年度	対目標値	評価		
		各月目標(a)	各月実績(b)	(a/b)		累計目標値(c)	累計実績値(d)	(c/d)			
4月	-	25.2	5.0	19.9%	×	25	5	19.9%	×		
5月	-	25.2	-	0.0%	×	50	5	9.9%	×		
6月	-	25.2	6.0	23.9%	×	75	11	14.6%	×		
7月	-	25.2	4.0	15.9%	×	101	15	14.9%	×		
8月	6.50	25.2	13.5	53.7%	×	126	29	22.7%	×		
9月	60.00	25.2	21.5	85.5%	×	151	50	33.1%	×		
10月	36.50	25.2	37.0	147.1%	○	176	87	49.4%	×		
11月	57.50	25.2	17.5	69.6%	×	201	105	51.9%	×		
12月	45.50	25.2	26.0	103.4%	○	226	131	57.6%	×		
1月	56.00	25.2	15.0	59.6%	×	252	146	57.8%	×		
2月	17.00	25.2	28.0	111.3%	○	277	174	62.7%	×		
3月	8.50	25.2	79.5	316.0%	○	302	253	83.8%	×		
	287.50	301.87	253	83.8%							



■2011 年度温室効果ガス排出量(全社)

	CO2排出量(kg)					合計
	電力	軽油	ガソリン	LPガス	灯油	
4月	2,014	1,218	327	0	199	3,758
5月	1,491	1,336	485	4	0	3,316
6月	1,804	1,463	543	5	0	3,815
7月	1,704	1,200	536	1	0	3,441
8月	1,488	1,349	527	0	0	3,364
9月	1,770	1,631	360	0	149	3,910
10月	1,781	1,084	508	4	0	3,377
11月	2,190	1,401	471	7	336	4,405
12月	2,364	996	420	10	598	4,388
1月	2,297	810	408	8	618	4,141
2月	2,729	957	438	12	1,106	5,242
3月	2,363	818	288	12	0	3,481
合計	23,995	14,263	5,311	63	3,006	46,638



年度内に目標未達となった項目について、各サイト別に原因分析し、目標値を変更せずに次年度達成できるよう取組んで参ります。

5. 教育訓練

2011年度教育訓練計画（全社分）

主管：環境管理課

教育名	教育の内容	対象者	頻度	実施 期間	主管部門・機関
1.一般教育	EMS概要、地球環境保全、環境マネジメント活動全般（方針、目的目標、EMP等含む）	本社及び東北事業所の一般従業員全員	1回	8・9月	環境管理課
2.特定教育	- 作業による顕在的又は潜在的な環境影響 - 手順書に従わなかった場合の環境影響 - 環境関連法規等 - その他著しい環境側面に関する知識	・総務課関連手順書教育（省エネ管理手順書他） 適用者：全員	1回	8・9月	環境管理課
		・業務部関連手順書教育①（省エネ管理手順書他） 適用者：全員	1回	8・9月	環境管理課 業務部責任者
		・業務部関連手順書教育②（中間処理機操作全般教育） 機械操作関連者	1回	8・9月	業務部責任者
		・東北事業所関連手順書教育（省エネ管理手順書他） 適用者：全員	1回	8・9月	環境管理課 推進責任者
3.専門教育	・産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会（更新・新規）	該当なし	—	—	指定会場
4.内部監査員教育	・環境監査員養成講座（環境管理責任者主催コース）	内部監査員候補者	1回	11月	外部専門機関
	・環境監査リーダー（主任監査員）教育	主任監査員に昇格し、初めて監査リーダーを務める者 該当なし	—	—	外部専門機関
	・環境監査員ブラッシュアップ教育	認定済監査員（監査の前の訓練）	1回	12月	外部専門機関
5.緊急事態対応 訓練	- わが社が特定している緊急事態 - 緊急事態発生時での対応及び処置 - 緊急事態の実際の訓練	緊急事態が想定される業務に従事している従業員（本社および東北）	1回	10月	各部門責任者
		会社全体に関わる緊急事態（火災や大地震想定）：全従業員	1回	防災訓練 12月	環境管理課 ISMS課



一般教育



内部監査員教育



監査員ブラッシュアップ教育

毎年部門別または全社分の教育訓練計画に基づき、環境一般教育、特定教育、内部監査員教育等を実施し、すべての従業員に、環境活動の取り組みへの理解や環境意識の向上をはかっております。

教育効果をより向上させるため、少人数グループを形成して実施しております。



緊急事態対応訓練

当社では、環境に影響を与える事故を想定し、毎年1回緊急事態対応訓練や、防災訓練を実施しております。対応手順に基づき、対応テストや、救急時の備品類の整備を行っております。今年度は、昨年度の災害経験も踏まえて、火災、地震時の対応・備品等について、入念に確認しました。

6. 産業廃棄物の再資源化取り組み事例

排出事業者より処理委託を受けた産業廃棄物を極めて細やかに手解体・手選別することにより、鉄・非鉄・貴金属・ガラス・プラスチック等のリサイクル化を行っております。

また、排出事業者からのご要望がございましたら、リサイクル報告書、廃棄証明書、廃棄(解体)写真の提出、または搬入時に担当者の現場立会いにより、廃棄物の適正処理状況の確認をして頂いております。

使用済シリコンウェーハケースの再資源化



選 別

素材の選別



破碎



粉碎

素材毎に粉碎したもの



リサイクル処理報告書、
廃棄証明書の作成

株式会社○○○○ 御中

〒100-0000 東京都千代田区〇〇〇 〇〇番 〇〇号

リサイクル推進報告書

製造業におけるリサイクル推進活動の進捗状況を、以下のとおり報告いたします。

〇〇〇〇株式会社

〒100-0000 東京都千代田区〇〇〇 〇〇番 〇〇号

証 明 書

貴社がリサイクル推進活動に
口頭または書面により進捗状況を
〇〇〇〇株式会社（以下「〇〇〇〇社」と称す）に
報告したことを証明いたします。

品名	数量	単位	備考
〇〇〇〇	100	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	200	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	300	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	400	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	500	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	600	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	700	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	800	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	900	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	1000	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	1100	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	1200	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	1300	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	1400	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	1500	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	1600	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	1700	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	1800	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	1900	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	2000	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	2100	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	2200	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	2300	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	2400	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	2500	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	2600	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	2700	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	2800	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	2900	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	3000	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	3100	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	3200	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	3300	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	3400	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	3500	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	3600	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	3700	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	3800	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	3900	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	4000	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	4100	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	4200	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	4300	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	4400	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	4500	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	4600	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	4700	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	4800	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	4900	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	5000	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	5100	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	5200	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	5300	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	5400	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	5500	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	5600	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	5700	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	5800	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	5900	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	6000	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	6100	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	6200	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	6300	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	6400	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	6500	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	6600	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	6700	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	6800	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	6900	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	7000	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	7100	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	7200	kg	リサイクル率 100%
〇〇〇〇	7300	kg	リサイクル率 100%

7. 優良産廃処理業社認定制度の取り組み

■ 優良産廃処理業者認定制度について

平成 22 年度の廃棄物処理法改正に伴い、「優良産廃処理業者認定制度」が新制度として創設されました。

平成 23 年 4 月 1 日より、産業廃棄物処理業者からの申請により、国が定めた「産業廃棄物処理業の実施に関し優れた能力及び実績を有する者の基準」に基づき、通常の許可基準よりも厳しい基準をクリアした優良な産廃処理業者を都道府県・政令市が審査して認定する制度です。

認定を受けた産業廃棄物処理業者は、許可有効期限の特例等の優遇措置が講じられ、優良マークの付いた許可証が交付されるとともに、各都道府県のホームページにおいて公表される等、多くのメリットがあります。

■ 制度の基準について

優良認定業者として認定される為には以下の基準すべてに適合している必要があります。

1. 実績と遵法性

5 年以上産業廃棄物処理業を営んでいる実績があり、廃棄物処理法に基づく改善命令等の不利益処分を受けていないこと。

2. 事業の透明性

取得した許可の内容や産業廃棄物の処理状況、施設の維持管理状況など、一定の情報について、インターネットにより一定期間以上公表していること。

3. 環境配慮の取組

ISO14001 やエコアクション 21 等の認証を取得しており、環境に配慮して事業を行っていること。

4. 電子マニフェスト

電子マニフェストシステム（JWNET）に加入しており、電子マニフェストが利用できること。

5. 財務体質の健全性

直前 3 事業年度のうちのいずれかの事業年度における自己資本比率が 10% 以上であることや、法人税等を滞納していないことなど、財務体質が健全であること。

■ 当社の新制度への取り組み

当社では、新制度「優良産廃処理業者認定制度」の厳しい基準を満たし、処理業の許可を受けている各自治体の認定を受けられるよう、積極的に取り組んで参りました。

今年度は以下の県において「優良産廃処理業者」の評価基準に適合していると認められました。

それにより、許可有効期間が 7 年に延長され、許可証の優良マーク、環境省が推進している「優良さんばいナビシステム」への登録など、様々な優遇措置を受けられるようになりました。

◆ 栃木県 産業廃棄物処分業	平成 23 年 9 月 7 日	優良確認
◆ 栃木県 産業廃棄物収集運搬業	平成 23 年 9 月 7 日	優良確認
◆ 群馬県 産業廃棄物収集運搬業	平成 23 年 10 月 6 日	優良認定
◆ 福島県 産業廃棄物収集運搬業	平成 24 年 1 月 6 日	優良確認

産業廃棄物処理業の許可証に優良マークがつけました。

優良さんばいナビ
優良産廃処理業者
ナビゲーションシステム

環境省における、排出事業者が優良な処理業者を選択し、産業廃棄物の適正処理を推進するためのシステム
<http://navi.ikashigen.go.jp/>

様式第七号の二（第十条の二関係）

許可番号 01000000000000000000

産業廃棄物収集運搬業許可証

住 所 栃木県大田原市北金丸 2 1 2 2 番地

氏 名 那須マテリアル株式会社
代表取締役 星野治

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第十四条第一項の許可を受けた者であることを証する

優良

8. 地域社会への取り組み（クリーン活動）

本社および東北事業所の工場周辺を当社の従業員が一定期間毎にクリーン活動を実施しております。



本社工場周辺のクリーン活動の様子

9. その他の環境活動

当社では、従業員によるペットボトル、古紙回収リサイクル活動を実施しております。



回収したペットボトルやダンボールの検量の様子

最後に

那須マテリアル株式会社は、事業活動およびこの環境報告書の情報開示を通じ、地球社会・顧客・お取引先様とコミュニケーションを計るとともに、信頼確保に今後とも努めて参ります。

2012 年 5 月

那須マテリアル株式会社

代表取締役

星 彰彦